

CHINA

会見中に笑顔で握手するシャープ・高橋興三社長(右)と鴻海精密工業・郭台銘会長(4日付)



4月6日(水)

■A I・ロボットに参入
常州愛爾威智能科技
常州愛爾威智能科技(エアホイール)は、ロボット・人工知能ビジネスに参入する。自動平衡車輪型サービスロボット「エアホイールS 9」をドイツの展示会発表した。(9面)

■トランスクスモス、上海新拠点
ファーウェイ携帯/サポート
トランスクスモスは、上海市に「上海第三センター」を設立した。華為技術(ファーウェイ)の携帯端末や家庭用製品の利用者向けに電話・チャットでのサポートする。(11面)

■大陽日酸、有機EL材に出資
ディスプレー大手に供給
大陽日酸は、中国で有機EL材料を手がける吉林奥来徳光電材料に出資し、グローバルでの独占販売権を得た。中国のディスプレーダ大手への供給実績がある。(14面)

4月7日(木)

■ヤマト、中国で越境宅配
ネット通販/日本→中国4日
ヤマトHDは、中国の越境ECモールの物流サービスに乗り出す。中国ネット通販大手・京東商城、ECモール運営・フランクと連携。中国で注文した商品を日本から最短4日。(3面)

■アルフレッサファーマ、新棟
手術用縫合糸を増産
アルフレッサファーマは、青島市の中国子会社・青島耐絲克医材の敷地内に新棟を建設し、手術用縫合糸を増産する。中国国内の縫合糸の需要増に対応するが狙い。(11面)

ASIA

4月4日(月)

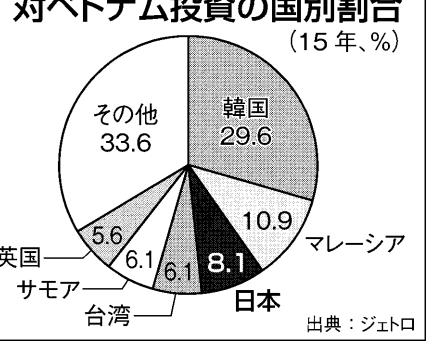
■有機EL生産一場に変更
鴻海/2000億円投資変更なし
台湾・鴻海精密工業は、小型の有機ELパネルの開発・量産を、当初計画のシャープ・亀山工場から堺D Pに切り替えると決めた。2000億円投資、2017年の生産開始は変更しない。(1面)

■鴻海、シャープ再建を主導
有機EL/IOT家電部材
台湾・鴻海精密工業による、シャープ買収が正式決定した。鴻海が388億円出資しシャープ再建を主導する。有機ELパネルやIOT家電の事業化を急ぐ。(深層断面=22面)

4月5日(火)

■インドネシアガス田、見直し
当局が陸上建設/国際帝石
国際石油開発帝石は、インドネシア沖で進めている大規模ガス田開発について、同国政府から計画見直しの要請。洋上に建設する計画に現地政府は陸上への建設を求めてきた。(3面)

■韓国、ベトナムで存在感
昨年投資/日本3位、影薄く
ベトナムへの2015年の国別投資額で韓国が1位。2008年にサムスン電子の大型投資以来、1次サプライヤーに続き、2次サプライヤーの進出も多い。3位・日本は影が薄れる。(4面)



■ブンタウ沖の掘削を受注
日本海洋掘削/600万ドル
日本海洋掘削は、ベトナムのペトロベトナム・ドリリング&ウェルが开出光興産との掘削契約に基づいて、ブンタウ沖の掘削を受注した。受注金額は約600万ドル。(7面)

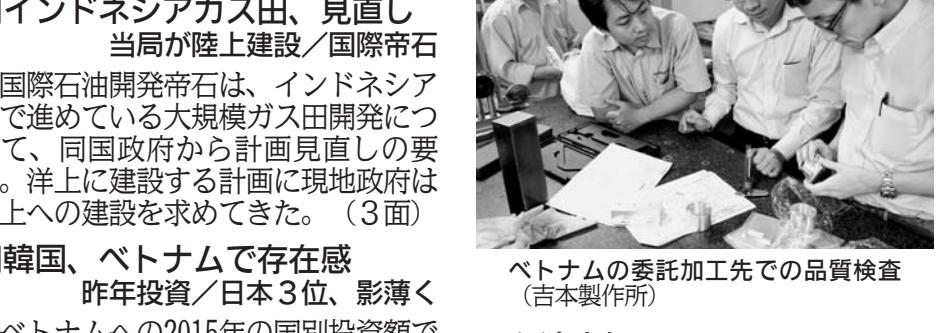
4月6日(水)

■台湾版「鈴鹿サーキット」
モビリティランド/高雄市
モビリティランドは、ライセンス供与した「鈴鹿サーキットパーク」が台湾・高雄市に開園する。コースと同じカートコース(約600m)を構築。年間1000万人の来場を見込む。(6面)



鈴鹿サーキットパーク(左下)と大魯閣バーチ・カオス(右上)=イラスト

■吉本製作所、ベトナムに現法
金属加工、現地企業に委託
吉本製作所は、ベトナム・ホーチミン市に現地法人を設立する。日本で受注した金属加工をベトナム企業への委託加工、ベトナムのTPP加盟により輸出ニーズが高まるとみる。(9面)



吉本製作所の委託加工先での品質検査(吉本製作所)

■台湾人好みにリニューアル
台湾限定/アサヒビール
アサヒビールは、台湾限定「朝日乾杯」ビールをリニューアル。台湾人が好むすっきりした味わいを強調、アルコール度数を4.5度から4度に。軽快な飲み口にした。(19面)

■シンガポールで新製品開発
田辺三菱製薬
田辺三菱製薬は、100%出資の海外子会社「MTファーマ・シンガポール」を設立した。ASEANで新製品開発などを手がける。医療品事業の統括拠点。(11面)

■アステラス、マレーシア販社
抗真菌剤/免疫抑制剤
アステラス製薬は、「アステラスフアーマ・マレーシア」を設立した。従業員30人で、うち20人が営業を担う医薬情報担当者(MR)。抗真菌剤や免疫抑制剤などを販売する。(11面)

■冷凍食品、アジアに拡販
農水省/サイト開設
農林水産省は、東南アジアでの冷凍・冷蔵食品取引を加速するため、ウェブサイトを開設した。日本への輸出、アジアに販売網を築きたい国内メーカーがマッチングや取引に。(14面)

■E Vモーター放熱部材で提携
東特塗料/台湾I TR I
東特塗料は、電気自動車のモーターに使われる放熱部材の開発で台湾・工業技術研究院と提携した。熱伝導性エナメル線アミドミドワニスは、エナ

中国・アジア ダイジェスト

池の生産拠点は台湾、ベトナム、フィリピンに次ぎ4カ所目。(13面)

4月18日(月)

■車の衝突試験で新設備
米ZF TRW/開発センター
米ZF TRWは、安亭研究開発センターに自動車の衝突試験を専門に行う部門を新設した。最新の衝突試験用設備を導入し、安全システム技術の高度化を狙う。(7面)

■積水化学、中国内陸部から撤退
水インフラ/現地企業に売却
積水化学工業は、中国内陸部で強化プラスチック複合管などを生産・販売する「永昌積水複合材料(新疆ウイグル自治区)」を現地企業に売却。内陸部での水インフラ事業から撤退。(12面)

4月19日(火)

■非鉄10種、生産4%減
1-2月/761万2000トン
中国国家統計局によると、非鉄金属10種の生産高は、年初2カ月で前年同期比4.3%減の761万2000トンとなった。2015年通年の5.8%増から減少に転じた。(時事=12面)

■中国語圏の専門チーム
大京穴吹不動産
大京穴吹不動産は、中国語圏の顧客の専門チームを発足。首都圏の顧客に、日本での物件探しから住宅ローンの手続き、契約・引き渡しまで一貫して対応。(15面)

4月20日(水)

■TDK、中国・タイで生産
風力発電/ネオジム磁石
TDKは、風力発電設備の中核部材であるネオジム磁石を中国とタイで生産する。欧米風力発電メーカーからの受注拡大で、成田工場が手狭になっており生産移管を決めた。(12面)

「中国・アジアダイジェスト」面
次回は5月16日に掲載します。

方が出てきた。インフラ投資が急増、住宅投資の回復が製造業にもプラスに働く。3月輸出は9カ月ぶりにプラスに転じた。(深層断面=34面)

■中国で環境装置拡販
大川原製作所/技術供与
大川原製作所は、乾燥装置で、アジアや欧州の市場を開拓する。上海市の上海通華に汚泥処理の蒸気式汚泥資源化設備の技術を供与し、中国で環境装置の受注拡大を本格化。(12面)

4月21日(木)

■エスペック、中国供給拡大
環境試験器ユニット
エスペックは、広東省の生産子会社から国内外の拠点への環境試験器のユニット供給を拡大する。試験器内の観測用窓モジュールに加え、扉ユニットを福知山工場などに供給。(8面)

■中国語圏の専門チーム
大京穴吹不動産
大京穴吹不動産は、中国語圏の顧客の専門チームを発足。首都圏の顧客に、日本での物件探しから住宅ローンの手続き、契約・引き渡しまで一貫して対応。(15面)

4月22日(金)

■TDK、中国・タイで生産
風力発電/ネオジム磁石
TDKは、風力発電設備の中核部材であるネオジム磁石を中国とタイで生産する。欧米風力発電メーカーからの受注拡大で、成田工場が手狭になっており生産移管を決めた。(12面)

TELOP

■独社の韓国生保部門を買収
中国・安邦保険(時事=13面)

■三菱化学など中国で勝訴
赤色蛍光体特許(22日14面)

■中国、銅輸出を拡大へ
国際市場を揺るがす

中国は、記録的に積み上った銅在庫の一部を輸出する動き。国際市場を揺るがす公算。中国国営製錬業者2社を含む銅の取引業者4社によると、数カ月間に銅輸出を拡大。(時事=15面)

4月13日(水)

■3Dプリンターで別荘
強度5倍/コスト50%カット
蘇州工業園区で、3Dプリンターで造られた中国式別荘が公開された。建築面積80平方㍍で、販売価格は40万元。強度はセメント製の5倍。建築コストを50%カット。(時事=13面)

4月14日(木)

■中国、輸出11%増
3月/9カ月ぶりプラス
中国は、3月輸出が前年同月比11.5%増の1608億ドル(約17兆円)と、2015年6月以来、9カ月ぶりにプラスに浮上した。輸入は7.6%減の1309億ドル。17カ月連続マイナス。(4面)

■中国新車トヨタ4割増
3月/上位4社好調
日系7社の中国3月の新車販売は、日産自動車など上位4社が前年同月超え。中国市場全体は前年同月比8.8%増の243万9700台。トヨタ自動車は4割増の最大の伸び。(6面)

■微信のモバイル決済代行
新生銀行/ラオックスなど
新生銀行は、訪日中国人向けに中国最大SNS「微信(ウイーチャット)」で提供されるモバイル決済の日本での決済代行を始める。ラオックスなどで利用できる。(3面)

4月15日(金)

■産業用鉛蓄電池を中国生産
日立化成/海外4カ所目
日立化成は、産業用鉛蓄電池の生産子会社を広東省に設立する。約28億円投資。2017年7月に稼働予定。鉛蓄電

メル線に比べ放熱効果が高い。(15面)

■西鉄、アジアでホテル
国際物流の拠点・人材生かす
西日本鉄道は、国際物流事業の拠点や人材を生かし、アジアでホテルや住宅事業を展開する。また、新型観光列車で訪日外国人を取り込む。グループ長期ビジョン。(17面)

4月12日(火)

■ヨロズ、韓国社に技術提供
ルノーサムソンが部品採用
ヨロズが独自開発した、サスペンション部品の強度を高める技術がルノーサムソン自動車の中型車「SM6」に採用された。技術支援先の韓国DKオーステックが部品を製造。(6面)

■東芝・IHI・石炭火力拡張
インドネシア電力公社から受注
東芝とIHIは、インドネシア電力公社の石炭火力発電所の拡張プロジェクトで、東芝が超々臨界圧方式蒸気タービンと発電機を、IHIがボイラを受注した。(9面)

■J Xエネ、赤色天然色素増産
韓国バイオに製造委託
J Xエネルギーは、食品の着色などに使う赤色のカラメノイド色素「アスタキサンチン」を韓国バイオ企業・大象に製造委託する。サケ・マスの色調改善用天然色素を増産。(13面)

4月13日(水)

■コンビニ、アジア開拓
ファミマ=マレーシア
コンビニエンスストアが、アジアでの店舗展開を積極化。ファミリーマートは、マレーシアに進出する。海外展開で他社を大きく引き離すセブン-イレブンはベトナムで1号店。(3面)

■シャープ、来年度黒字化
鴻海主導で再建計画
台湾・鴻海精密工業は、シャープ再建計画の立案に着手した。主力の液晶事業を早期に立て直す。IOTでセンサー類を拡販。2018年3月期の当期損益黒字化の足がかりに。(15面)

■タタ、英国事業を一部売却
東部製鉄所/仏拠点
印タタ・スチールは、英鉄鋼子会社の事業の一部を投資会社グレブル・キャピタルに売却する。英国東部の製鉄所やフランスの拠点など。大幅な赤字が続いている。(時事=17面)

4月14日(木)

■東電、ベトナムに技術協力
少ない送電ロス/ノウハウ移転
東京電力HDは、ベトナム・ノウハウの配電系統整備に協力する。安定性が高く送電ロスも少ない配電系統の整備で、投資を最適化するノウハウを移転する。(3面)

■出光、ベトナムで燃料油
クウェートと合弁/ハノイに1号店
出光興産は、ベトナムで燃料油の販売を始める。クウェート石油公社傘下の石油精製・販売会社クウェート国際石油と折半出資で現地に合弁会社ハノイ市に給油所1号店。(3面)

■横浜ゴム、応急タイヤ増産
ベトナム倍増/日本向け
横浜ゴムは、ベトナムの子会社が手がける「テンパータイヤ」と呼ばれる乗用車向け応急用タイヤの生産能力を倍増させる。日本の完成車メーカーからの強いニーズに応える。(6面)

■ベトナム新工場稼働
シンフォニア/電磁クラッチ
シンフォニアテクノロジーは、ベトナムに電磁マイクロクラッチの新工場

を建設、操業を始めた。2017年度に月産100万台規模まで拡大する計画。顧客企業の生産シフトに連動。(7面)

4月20日(水)

■ケーピン、タイから移管
4輪車用電子制御ユニット
ケーピンは、宮城第二製作所に設けた4輪車用電子制御ユニットの廉価組み立てラインを稼働。1ライン当たりの人員を従来の12人から6人に半減。タイから移管する。(7面)

■シンガポールに飛行訓練施設
エアバス/最大規模
エアバスは、シンガポールで飛行訓練施設「エアバス・アジア・トレーニング・センター」を稼働した。シンガポール航空との共同出資。年間1万人以上の訓練生。最大規模。(11面)

■横浜市、コンテナ船補助拡充
大型船切り替え/13万5000円
横浜市は、アジアと横浜港を結ぶコンテナ船向け補助事業を拡充する。中国・アジア航路で大型船に切り替えた場合に補助金。横浜港への寄港1回で1万5000-13